

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			最低限利用児童一人当たり2.7㎡必要なところ、弊所は4.38㎡である。人数が多い日に利用できる部屋も確保してある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児発管、児童指導員、看護師は常にいて、利用人数に応じて職員を増やすなど配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入口もフラットであり、トイレも広くとってある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			改善提案を作成・周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIに専用ページを設けて公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		相談支援事業所のモニタリングにとどまる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			現在月一で研修実施。 虐待防止研修や事例検討など。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回、3月と9月に面談実施。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントシートを活用し個別支援計画書に反映させることとする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			イベント責任者を決め、その中で行う活動をほかのスタッフで立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日によって活動を変え、イベントに合わせて都度工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学習や視線入力は個別に、制作、音楽、ポッチャなどはグループで活動することが多い。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて前日の振り返りなどを行っている。朝霞店とも共有しお互いの事例検討としている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼をその場のスタッフで行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳や日報に記録。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回3月と9月に実施。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			5領域を組み合わせ支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			今年度招集があり、代表と児発管で参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時担任の先生と顔を合わす際 日々の様子をうかがう。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医師の指示書、意見書の管理。 変更があったら再提出を求める。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				前例無しのため未評価
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				招集資格がない為未評価
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳やSNS、送迎時に密に連絡を取っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		年2回の個別面談や送迎時の対応で悩み事などを聞いている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書を用いて説明
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は保護者参加型のイベントも再開。新規利用のご家庭も積極的に参加してくれた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			保護者用SNSに活動写真などをアップロードしている。 今年は久しぶりに会報誌も発行。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			外部SNSにアップするときには顔を隠すなど工夫。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			細かく本人に意思確認。 選択能力向上に努めている。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			月一の研修に組み込み、年に一回以上スタッフに周知済み。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			4月、8月に避難訓練実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			4月に虐待防止研修を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		指針などは決まっているが、代替案などで間に合っているため今のところ実施に至らず。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			冷蔵庫に掲示。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		まずは掲示してスタッフに周知。ファイルを作成、すぐ手に取れるところへ保管。